

第5期

運用報告書(全体版)

農業・食糧関連オープン

【2016年3月7日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「農業・食糧関連オープン」は、2016年3月7日に第5期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様の負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	2011年3月31日から2021年3月5日までです。	
運用方針	農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）の受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	農業・食糧関連株マザーファンド	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	農業・食糧関連株マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金配分	騰落率			
(設定日) 2011年3月31日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 3,544
1期(2012年3月5日)	8,751	0	△12.5	47.8	48.3	939
2期(2013年3月5日)	10,339	200	20.4	45.2	46.5	431
3期(2014年3月5日)	11,184	200	10.1	42.7	47.9	273
4期(2015年3月5日)	11,506	200	4.7	47.7	47.3	418
5期(2016年3月7日)	9,808	0	△14.8	43.5	48.1	222

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は、分配金(税引前)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

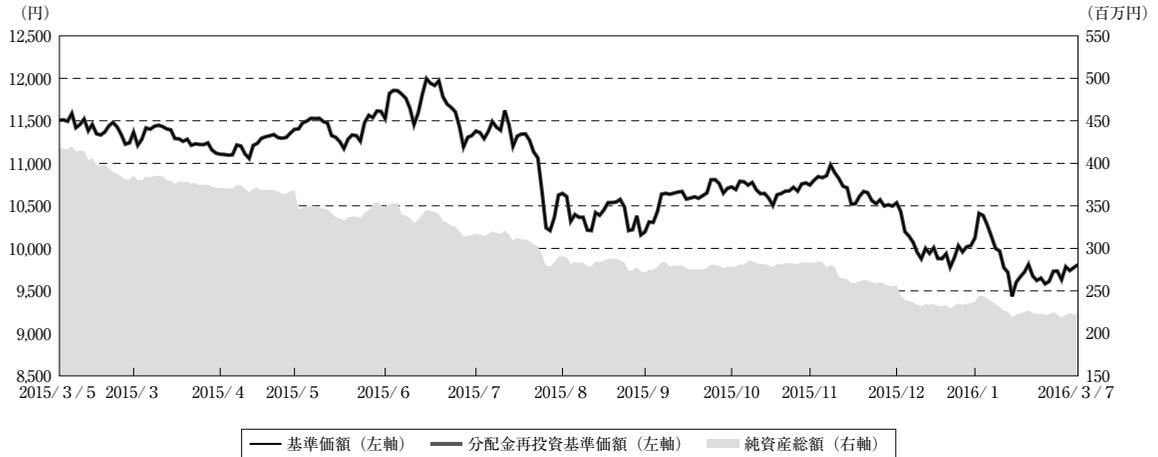
年月日	基準価額		株組入比率	債券組入比率	騰落率
	円	%			
(期首) 2015年3月5日	11,506	-	47.7	47.3	
3月末	11,365	△1.2	47.2	47.9	
4月末	11,107	△3.5	46.9	47.3	
5月末	11,400	△0.9	46.4	45.8	
6月末	11,527	0.2	46.5	48.6	
7月末	11,380	△1.1	50.0	45.3	
8月末	10,645	△7.5	49.5	46.2	
9月末	10,196	△11.4	47.2	49.3	
10月末	10,723	△6.8	46.1	48.3	
11月末	10,746	△6.6	44.7	46.0	
12月末	10,535	△8.4	45.2	47.7	
2016年1月末	10,125	△12.0	44.0	48.3	
2月末	9,733	△15.4	43.7	48.4	
(期末) 2016年3月7日	9,808	△14.8	43.5	48.1	

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年3月6日～2016年3月7日)



期首：11,506円

期末：9,808円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△14.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2015年3月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

○農業・食糧関連株マザーファンド

- ・欧米の底堅い個人消費の恩恵を受けて、加工食品関連株や食肉加工関連株の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、TYSON FOODS INC-CL AやPEPSICO INCなどの株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

○アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

○農業・食糧関連株マザーファンド

- ・新興国の景気悪化による穀物需要の鈍化観測から、肥料関連株が下落したことがマイナスに寄与しました。

○アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

- ・穀物の豊作予想から供給過剰が懸念され、農作物価格が下落したことがマイナスに寄与しました。

為替市場において、米ドルが対円で下落したことが基準価額のマイナスに寄与しました。

投資環境

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当期の世界株式市場は、米国企業の良い業績や欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和策が2015年3月から開始されたことなどから底堅く推移しました。その後も米国の低金利政策の長期化観測が強まったことなどから上昇したものの、8月に中国の景気悪化懸念や人民元の実質的な切り下げなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。10月には米国の利上げ観測が後退したことや、米国企業の良い業績を受けて上昇に転じました。12月には米国で利上げが決定されたものの、今後の追加利上げペースは緩やかになるとの見通しが株価を下支えしました。しかし2016年1月以降は、中国の金融市場の混乱や米国景気の鈍化懸念に加え、原油価格の低迷などから下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当ファンドは、「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」（以下、マザーファンドといいます。）の受益証券を主要投資対象とします。マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資しました。

当期においては、「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当ファンドは、毎年3月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

当期の分配金につきましては、見送りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第5期
	2015年3月6日～ 2016年3月7日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,619

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

今後の世界株式市場は、株価バリュエーション面での割安感や金融政策への期待が株価の下支え要因になるものの、企業業績の底入れ時期の後ずれ観測から上値の重い展開になると予想します。

(運用方針)

<農業・食糧関連オープン>

主要な投資対象である「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の組入比率をそれぞれ50%程度に維持して運用する方針です。

○農業・食糧関連株マザーファンド

種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、株価バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で投資を行います。また、株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。

○アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年3月6日～2016年3月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	172 (82) (82) (8)	1.596 (0.760) (0.760) (0.076)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.045 (0.045)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	43 (41) (1) (0)	0.397 (0.380) (0.013) (0.004)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	220	2.039	
期中の平均基準価額は、10,790円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年3月6日～2016年3月7日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 98,263	千円 70,500
農業・食糧関連株マザーファンド	—	—	46,840	81,500

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○株式売買比率

(2015年3月6日～2016年3月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	農業・食糧関連株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	161,198千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	141,035千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.14

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月6日～2016年3月7日)

利害関係人との取引状況

<農業・食糧関連オープン>

該当事項はございません。

<農業・食糧関連株マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株 式	38	9	23.7	123	13	10.6

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

<アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

該当事項はございません。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	135千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	20千円
(B)／(A)	15.4%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2016年3月7日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)		当期		末
		口	数	口	数	評価額
			千口		千口	千円
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド			275,843		177,580	109,176
農業・食糧関連株マザーファンド			113,703		66,862	105,810

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年3月7日現在)

項	目	当期		末
		評価額	比	率
		千円		%
アグリカルチャー・インデックスマザーファンド		109,176		48.0
農業・食糧関連株マザーファンド		105,810		46.5
コール・ローン等、その他		12,662		5.5
投資信託財産総額		227,648		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 農業・食糧関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(95,191千円)の投資信託財産総額(105,810千円)に対する比率は90.0%です。

(注) 農業・食糧関連株マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.70円、1カナダドル=85.31円、1ユーロ=124.98円、1英ポンド=161.58円、1スイスフラン=114.40円、1ノルウェークローネ=13.38円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月7日現在)

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	227,648,976
コール・ローン等	12,661,812
アグリカルチャー・インデックス マザーファンド(評価額)	109,176,570
農業・食糧関連株マザーファンド(評価額)	105,810,594
(B) 負債	5,013,332
未払解約金	2,919,000
未払信託報酬	2,077,431
その他未払費用	16,901
(C) 純資産総額(A-B)	222,635,644
元本	227,002,840
次期繰越損益金	△ 4,367,196
(D) 受益権総口数	227,002,840口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,808円

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9808円です。
 (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は4,367,196円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は363,735,928円、期中追加設定元本額は22,555,924円、期中一部解約元本額は159,289,012円です。

○損益の状況 (2015年3月6日～2016年3月7日)

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	783
受取利息	783
(B) 有価証券売買損益	△32,771,039
売買益	7,141,537
売買損	△39,912,576
(C) 信託報酬等	△ 4,936,532
(D) 当期損益金(A+B+C)	△37,706,788
(E) 前期繰越損益金	10,004,212
(F) 追加信託差損益金	23,335,380
(配当等相当額)	(25,683,168)
(売買損益相当額)	(△ 2,347,786)
(G) 計(D+E+F)	△ 4,367,196
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,367,196
追加信託差損益金	23,335,380
(配当等相当額)	(25,723,564)
(売買損益相当額)	(△ 2,388,184)
分配準備積立金	11,050,569
繰越損益金	△38,753,145

- (注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。
 (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 収益分配金

決算期	第5期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,046,357円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	25,723,564円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	10,004,212円
分配対象収益(a+b+c+d)	36,774,133円
分配対象収益(1万口当たり)	1,619円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

＜お知らせ＞

- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 ①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2016年3月7日現在)

<アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

下記は、アグリカルチャー・インデックスマザーファンド全体(1,117,830千円)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	740,000 (740,000)	673,844 (673,844)	98.0 (98.0)	— (—)	— (—)	— (—)	98.0 (98.0)
合 計	740,000 (740,000)	673,844 (673,844)	98.0 (98.0)	— (—)	— (—)	— (—)	98.0 (98.0)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末のアグリカルチャー・インデックスマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) BB格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) 一印は組み入れがありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
UBS-AGRICULTURE 20161130	3.5	740,000	673,844	2016/11/30
合 計		740,000	673,844	

(注) UBS-AGRICULTURE 20161130は、UBS AG, London Branch (ユービーエス・エージー、ロンドン支店)発行のユーロ円建て債券です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

農業・食糧関連株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

農業・食糧関連株マザーファンド

第5期 運用状況のご報告

決算日：2016年3月7日

「農業・食糧関連株マザーファンド」は、2016年3月7日に第5期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界の農業および食糧に関連する企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。なお、株式の値動きに価格が連動する債券を組入れることがあります。
主要投資対象	日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	価額		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率	騰落率			
(設定日)	円	%	%	%	%	百万円
2011年3月31日	10,000	—	—	—	—	1,700
1期(2012年3月5日)	9,208	△7.9	97.2	—	—	462
2期(2013年3月5日)	11,851	28.7	95.9	—	—	203
3期(2014年3月5日)	13,941	17.6	87.9	—	—	132
4期(2015年3月5日)	18,003	29.1	97.6	—	—	204
5期(2016年3月7日)	15,825	△12.1	91.6	—	—	105

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

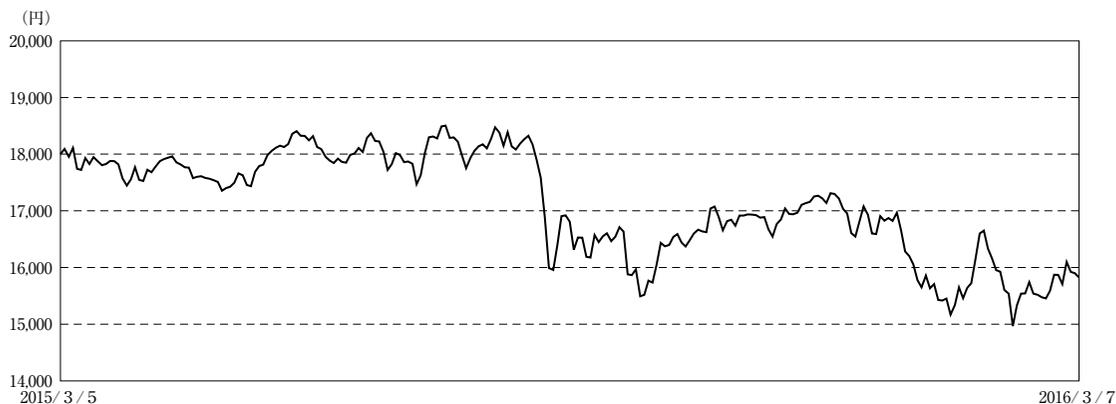
年月日	基準価額	価額		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率		
(期首)	円	%	%	%	%
2015年3月5日	18,003	—	97.6	—	—
3月末	17,770	△1.3	95.7	—	—
4月末	17,353	△3.6	93.8	—	—
5月末	18,405	2.2	91.8	—	—
6月末	17,722	△1.6	97.2	—	—
7月末	18,138	0.7	99.4	—	—
8月末	16,921	△6.0	96.7	—	—
9月末	15,517	△13.8	96.4	—	—
10月末	16,842	△6.4	93.4	—	—
11月末	17,160	△4.7	90.3	—	—
12月末	16,968	△5.7	90.3	—	—
2016年1月末	16,142	△10.3	88.9	—	—
2月末	15,869	△11.9	88.3	—	—
(期末)					
2016年3月7日	15,825	△12.1	91.6	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年3月6日～2016年3月7日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 欧米の底堅い個人消費の恩恵を受けて、加工食品関連株や食肉加工関連株の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・ 個別銘柄では、TYSON FOODS INC-CL AやPEPSICO INCなどの株価が上昇したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・ 新興国の景気悪化による穀物需要の鈍化観測から、肥料関連株が下落したことがマイナスに寄与しました。
- ・ 為替市場において、米ドルが対円で下落したことが基準価額のマイナスに寄与しました。

投資環境

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当期の世界株式市場は、米国企業の良い業績や欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和策が2015年3月から開始されたことなどから底堅く推移しました。その後も米国の低金利政策の長期化観測が強まったことなどから上昇したものの、8月に中国の景気悪化懸念や人民元の実質的な切り下げなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。10月には米国の利上げ観測が後退したことや、米国企業の良い業績を受けて上昇に転じました。12月には米国で利上げが決定されたものの、今後の追加利上げペースは緩やかになるとの見通しが株価を下支えしました。しかし2016年1月以降は、中国の金融市場の混乱や米国景気の鈍化懸念に加え、原油価格の低迷などから下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当ファンドは、世界の農業および食糧に関連する企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、種苗・農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用等の事業等に携わる、農業、食糧関連企業の株式に着目します。銘柄の選定にあたっては農業、食糧関連企業の株式の中から収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で行います。

当期につきましては、豊作観測や新興国の景気鈍化懸念などから農作物価格の低迷が懸念されたことから、肥料や種苗関連企業の組入比率を期を通じて抑えました。一方で、業績が安定的に拡大している食品関連企業の組入比率を高めて運用しました。組入比率については、期後半にかけて世界景気に対する不透明感が強まったことから組入比率を引き下げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年3月6日～2016年3月7日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

今後の運用方針につきましては、種苗、農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用などの事業等に携わる農業、食糧関連企業の株式に着目し、収益力、財務体質、株価バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した投資を行う方針です。

足元では、農作物価格の低迷に対する懸念が継続していることから、種苗や肥料関連株のウェイトを抑えた運用を維持します。一方で、付加価値の高い加工食料を提供する企業や業績が安定的に推移している企業の選別を強化します。中長期的には、世界人口の増加と新興国経済の成長に起因する構造的な食糧需要の増大を背景として、当ファンドが投資対象とする種苗・農業化学や農業関連設備、食品・飲料製造などに関連する企業の事業環境は良好に推移し、業績の伸長が見込めると判断し、株式の組入比率を引き上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年3月6日～2016年3月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 15 (15)	% 0.090 (0.090)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	123 (121) (1)	0.718 (0.711) (0.007)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	138	0.810	
期中の平均基準価額は、17,067円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2015年3月6日～2016年3月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 —	千円 —	千株 1	千円 2,796
外 国	アメリカ	百株 35 (25)	千米ドル 282 (-)	百株 152	千米ドル 931
	カナダ	—	千カナダドル —	2	千カナダドル 26
	ユーロ	—	千ユーロ	—	千ユーロ
	ドイツ	4	9	—	—
	アイルランド	—	—	5	36
国	スイス	0.2	千スイスフラン 8	—	千スイスフラン —
	ノルウェー	3	千ノルウェークローネ 114	— (-)	千ノルウェークローネ — (17)

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年3月6日～2016年3月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	161,198千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	141,035千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.14

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月6日～2016年3月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 9	% 23.7	百万円 38	百万円 13	% 10.6	百万円 123

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	135千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	20千円
(B)／(A)	15.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2016年3月7日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	株 数	株 数	評 価 額
食料品 (100.0%)	千株			千株		
味の素	4	3	8,257			
合 計	株 数 ・ 金 額	4	3	8,257	銘 柄 数<比 率>	1
		1	1	<7.8%>		

(注) 業種・銘柄欄の()内は、当期末の国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

農業・食糧関連株マザーファンド

外国株式

銘柄	株数	株数	当期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	10	—	—	—	素材	
KROGER CO	13	16	58	6,701	食品・生活必需品小売り	
MONSANTO CO	10	1	8	976	素材	
MOSAIC CO/THE	22	—	—	—	素材	
JM SMUCKER CO/THE	—	1	12	1,450	食品・飲料・タバコ	
BUNGE LTD	5	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
PEPSICO INC	12	7	70	7,959	食品・飲料・タバコ	
TYSON FOODS INC-CL A	32	11	71	8,124	食品・飲料・タバコ	
TREEHOUSE FOODS INC	—	4	34	3,875	食品・飲料・タバコ	
MEAD JOHNSON NUTRITION CO	6	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
POST HOLDINGS INC	—	5	35	4,078	食品・飲料・タバコ	
WHITEWAVE FOODS CO	13	9	37	4,210	食品・飲料・タバコ	
KEURIG GREEN MOUNTAIN INC	5	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	—	8	33	3,832	食品・飲料・タバコ	
KRAFT FOODS GROUP INC	3	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
CAL-MAINE FOODS INC	—	3	15	1,718	食品・飲料・タバコ	
J & J SNACK FOODS CORP	8	2	21	2,472	食品・飲料・タバコ	
HAIN CELESTIAL GROUP INC	17	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
CALAVO GROWERS INC	—	7	33	3,807	食品・飲料・タバコ	
UNITED NATURAL FOODS INC	10	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	166 14	74 12	432 —	49,208 <46.5%>	
(カナダ)			千カナダドル			
AGRIUM INC	10	8	91	7,845	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	10 1	8 1	91 —	7,845 <7.4%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
K+S AG-REG	—	4	8	1,060	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	4 1	8 —	1,060 <1.0%>	
(ユーロ…フランス)						
DANONE	9	9	61	7,729	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9 1	9 1	61 —	7,729 <7.3%>	
(ユーロ…アイルランド)						
KERRY GROUP PLC-A	13	8	63	7,917	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	13 1	8 1	63 —	7,917 <7.5%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	23 2	21 3	133 —	16,707 <15.8%>	

農業・食糧関連株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	
(スイス) NESTLE SA-REG SYNGENTA AG-REG	百株 9 —	百株 9 0.2	千スイスフラン 65 8	千円 7,525 926	食品・飲料・タバコ 素材
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	9 1	9 2	73 — < 8.0% >	
(ノルウェー) MARINE HARVEST YARA INTERNATIONAL ASA	32 —	32 3	千ノルウェークローネ 378 101	5,065 1,356	食品・飲料・タバコ 素材
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	32 1	35 2	479 — < 6.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	240 19	148 20	— — < 83.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組み入れがありません。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年3月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 96,892	% 91.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,918	8.4
投 資 信 託 財 産 総 額	105,810	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産 (95,191千円) の投資信託財産総額 (105,810千円) に対する比率は90.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.70円、1カナダドル=85.31円、1ユーロ=124.98円、1英ポンド=161.58円、1スイスフラン=114.40円、1ノルウェークローネ=13.38円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	105,810,765
コール・ローン等	8,851,386
株式(評価額)	96,892,175
未収配当金	67,204
(B) 純資産総額(A)	105,810,765
元本	66,862,935
次期繰越損益金	38,947,830
(C) 受益権総口数	66,862,935口
1万口当たり基準価額(B/C)	15,825円

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.5825円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は113,703,350円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は46,840,415円です。
 (注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、農業・食糧関連オープン66,862,935円です。

○損益の状況 (2015年3月6日～2016年3月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,976,082
受取配当金	1,975,952
受取利息	130
(B) 有価証券売買損益	△18,350,030
売買益	13,305,130
売買損	△31,655,160
(C) 保管費用等	△1,011,573
(D) 当期損益金(A+B+C)	△17,385,521
(E) 前期繰越損益金	90,992,936
(F) 解約差損益金	△34,659,585
(G) 計(D+E+F)	38,947,830
次期繰越損益金(G)	38,947,830

- (注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
- ①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離
- ・金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。(実施日：2015年12月2日)

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ヘビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

第8期 運用状況のご報告

決算日：2015年10月15日

「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」は、2015年10月15日に第8期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、当該インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉えることを目標に運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Agriculture Index」を「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」といいます。
主要投資対象	ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス（参考指数）		為替レート（ドル／円）		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率	ポイント	期中騰落率	円	期中騰落率		
4期（2011年10月17日）	6,654	△3.0	81.787	3.6	77.29	△5.2	97.5	百万円 2,645
5期（2012年10月15日）	7,166	7.7	87.006	6.4	78.39	1.4	98.5	1,432
6期（2013年10月15日）	7,562	5.5	73.180	△15.9	98.58	25.8	98.9	1,003
7期（2014年10月15日）	7,153	△5.4	63.923	△12.6	107.29	8.8	95.9	1,487
8期（2015年10月15日）	6,850	△4.2	55.508	△13.2	118.99	10.9	97.9	809

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」は、当該日前営業日の現地終値です。同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 「為替レート（ドル／円）」は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

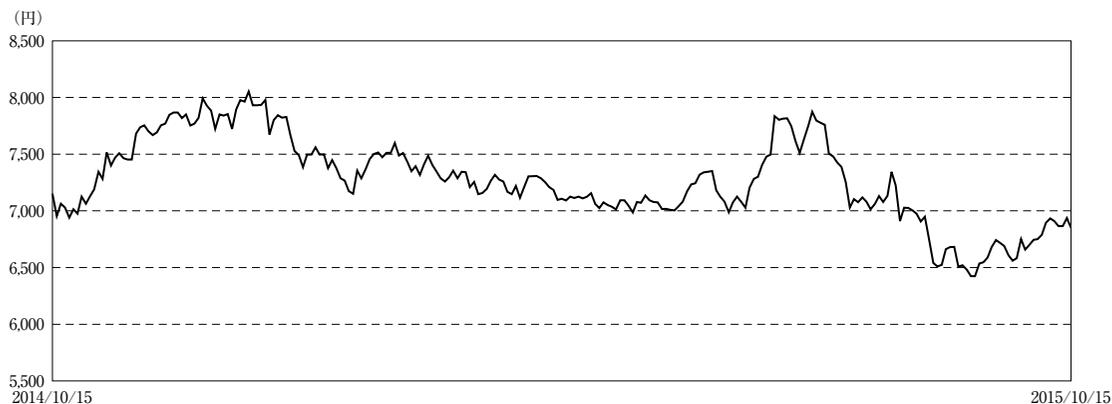
年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ・ アグリカルチャー (農作物) インデックス (参考指数)		為 替 レ ー ト (ド ル / 円)		債 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2014年10月15日	円 7,153	% —	ポイント 63.923	% —	円 107.29	% —	% 95.9
10月末	7,283	1.8	64.537	1.0	109.34	1.9	96.5
11月末	7,867	10.0	65.146	1.9	118.23	10.2	97.1
12月末	7,979	11.5	64.396	0.7	120.55	12.4	96.9
2015年1月末	7,267	1.6	59.470	△ 7.0	118.25	10.2	98.1
2月末	7,411	3.6	60.117	△ 6.0	119.27	11.2	97.5
3月末	7,220	0.9	58.136	△ 9.1	120.17	12.0	97.7
4月末	7,075	△ 1.1	57.395	△10.2	119.00	10.9	97.3
5月末	7,041	△ 1.6	54.860	△14.2	123.73	15.3	95.1
6月末	7,497	4.8	59.098	△ 7.5	122.45	14.1	96.4
7月末	7,118	△ 0.5	55.420	△13.3	124.04	15.6	98.3
8月末	6,681	△ 6.6	53.093	△16.9	121.18	12.9	97.8
9月末	6,699	△ 6.3	53.802	△15.8	119.96	11.8	97.5
(期 末) 2015年10月15日	6,850	△ 4.2	55.508	△13.2	118.99	10.9	97.9

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2014年10月16日～2015年10月15日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・組入れていたユーロ円建て債券の値下がりが、主なマイナス要因となりました。

投資環境

(2014年10月16日～2015年10月15日)

アグリカルチャー（農作物）市場は、中国向けを中心とした米国産穀物の堅調な輸出が好感される一方、ドル高の進行が上値を抑える要因となり、一進一退の動きとなりました。2015年に入ると、ブラジルの通貨レアルの下落を受けて、ブラジル産農作物の輸出拡大観測が強まり、軟調に推移しました。夏場にかけては、主要な穀倉地帯である米国中西部地域の天候不順を受けて一旦上昇する場面が見られましたが、秋口にかけては、米国産穀物の豊作観測が強まったことから再び下落しました。期末にかけては、米国の早期利上げ観測の後退を背景にドル安が進行したため、米国産農作物の輸出拡大観測が強まり、持ち直す動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

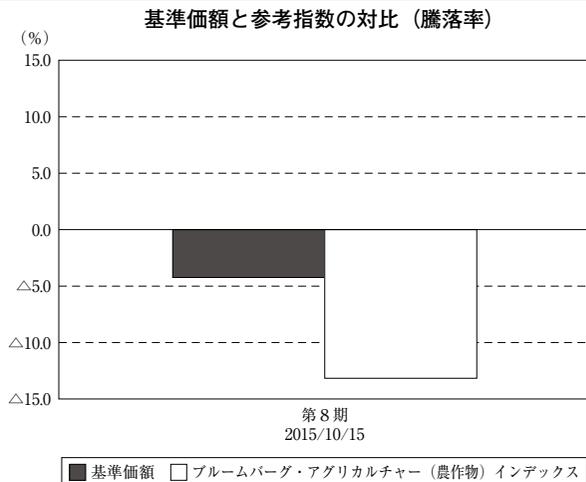
(2014年10月16日～2015年10月15日)

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。当期は、期中にユーロ円建て債券の入替えを行いました。期末現在では、UBS AG, London Branch（ユービーエス・エージー、ロンドン支店）発行の債券とSG Issuer（エスジー・イシューアー）発行の債券を保有しており、組入比率はそれぞれ56.3%と41.6%です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年10月16日～2015年10月15日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの騰落率を9.0%上回りました。為替（ドル／円）レートがドル高円安に振れたことが、参考指数の騰落率を上回る主な要因となりました。



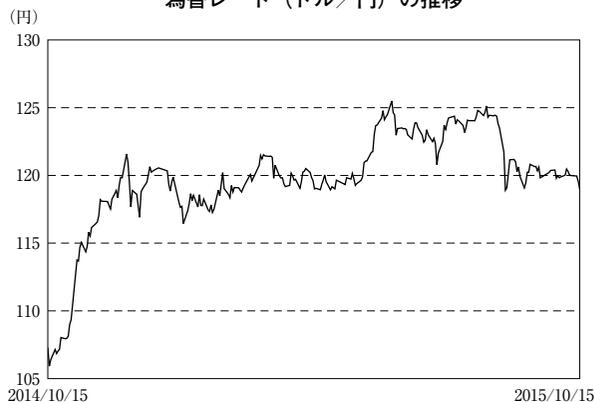
(注) 参考指数は、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスです。

ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの推移



(注) ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。

為替レート（ドル／円）の推移



(注) 為替レート（ドル／円）は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

今後の運用方針

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、同インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2014年10月16日～2015年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 4 (4)	% 0.055 (0.055)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	4	0.055	
期中の平均基準価額は、7,261円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年10月16日～2015年10月15日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券（投資法人債券を含む）	千円 1,477,630	千円 2,098,199

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月16日～2015年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年10月15日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	850,000 (850,000)	791,996 (791,996)	97.9 (97.9)	— (—)	— (—)	— (—)	97.9 (97.9)
合 計	850,000 (850,000)	791,996 (791,996)	97.9 (97.9)	— (—)	— (—)	— (—)	97.9 (97.9)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) B B 格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) 一印は組み入れがありません。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券（含む投資法人債券）	%	千円	千円	
UBS-AGRICULTURE 20151130	3.5	490,000	455,504	2015/11/30
SG-AGRICULTURE 20151130	3.5	360,000	336,492	2015/11/30
合 計		850,000	791,996	

(注) UBS-AGRICULTURE 20151130は、UBS AG, London Branch（ユービーエス・エージー、ロンドン支店）発行のユーロ円建て債券です。

(注) SG-AGRICULTURE 20151130は、SG Issuer（エスジー・イシューア）発行のユーロ円建て債券です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 791,996	% 97.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	17,273	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	809,269	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	809,269,002
コール・ローン等	16,783,968
公社債(評価額)	791,996,000
未収利息	489,034
(B) 純資産総額(A)	809,269,002
元本	1,181,450,016
次期繰越損益金	△ 372,181,014
(C) 受益権総口数	1,181,450,016口
1万口当たり基準価額(B/C)	6,850円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.6850円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は372,181,014円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,080,024,631円、期中追加設定元本額は48,805,395円、期中一部解約元本額は947,380,010円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、コモディティ・セレクション(食糧)981,159,881円、農業・食糧関連オープン200,290,135円です。

○損益の状況 (2014年10月16日～2015年10月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	33,108,039
受取利息	33,108,039
(B) 有価証券売買損益	△ 13,583,000
売買益	72,526,000
売買損	△ 86,109,000
(C) 保管費用等	△ 552,385
(D) 当期損益金(A+B+C)	18,972,654
(E) 前期繰越損益金	△ 592,228,283
(F) 追加信託差損益金	△ 13,805,395
(G) 解約差損益金	214,880,010
(H) 計(D+E+F+G)	△ 372,181,014
次期繰越損益金(H)	△ 372,181,014

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離

<当ファンドの参考指数の著作権等について>

ブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスおよび「ブルームバーグ(Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークです。ブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。